

## 缶詰フェスティバル寄付金総計 108,755 円を東日本大震災義援金として納付

### 公益社団法人日本缶詰協会

日本缶詰協会は、「防災の日」の 9 月 1 日（土）にあわせ、「防災の日 缶詰フェスティバル 2012 in 秋葉原」をベルサール秋葉原 1F ホールにて開催しました。

同イベントの構成要素の一つとして設置した缶詰を素材とした料理の試食コーナー（名称：「缶’ s Bar」コーナー）にて、来場者に対して東日本大震災の義援金として 100 円の寄付を呼び掛けました。同コーナーは、来場者に対して各種缶詰料理（おつまみ）と各種缶入りドリンクの試食品を各 1 品のセットで提供するものです。その他、募金箱は場内の防災グッズの展示コーナーにも設置しました。

この結果、100 円以上を寄付する来場者も散見され、寄付金の総額は 108,755 円にのびりました。

同寄付金については、9 月 4 日、日本缶詰協会から日本赤十字社を通じて、東日本大震災の義援金として納付を行いました。

本催事は、缶詰、びん詰、レトルト食品の特性である即食・個食性、汎用性などの訴求を通じて日常食としての利用機会創出を図ること、また、缶詰、びん詰、レトルト食品が保存性に優れ、非常食としても役立つことから、日常的な常備の必要性についても啓発することを目的として 9 月 1 日防災の日にあわせて開催したものです。東日本大震災以降、消費者の食料備蓄に対する意識は一層高まっており、催事を通じて缶詰の有用性を実感できるよう構成しました。

当日は土曜日ということもあり、若者層、ファミリー層を中心におよそ 5,000 名以上が来場し盛況のうちに終了しました。

- 名 称：公益社団法人 日本缶詰協会
- 所 在 地：東京都千代田区神田東松下町 10-2 翔和神田ビル 3F  
(T E L. 03-5256-4801 F A X. 03-5256-4805)
- 役 割：日本缶詰協会は、「缶詰、びん詰、レトルト食品の安全性の確保と品質の向上を図るために、必要な事項についての研究・調査、技術開発、指導及び普及啓発を行い、もって国民の豊かな食生活の実現と国民経済の健全な発展に寄与すること」を目的として組織されている団体。  
したがって、缶詰業界の指導的役割を果していると同時に、缶詰企業と行政当局や消費者を、それぞれにつなぐパイプの役割も、具体的な事業を通じて果している。
- 会 長：久代敏男（株式会社 マルハニチロホールディングス 代表取締役社長）
- 会 員 数：会員（288 社）・賛助会員（106 社） 合計（394 社）
- 本件の問い合わせ先：公益社団法人日本缶詰協会 業務部 藤崎 [fujisaki@jca-can.or.jp](mailto:fujisaki@jca-can.or.jp)



日本赤十字社にて義援金を納付した際の模様



催事当日の寄付の呼びかけ（募金箱）の様子